

令和5年度 第1学期始業式式辞

1 学期始業式にあたり、お話をいたします。

2, 3年生の皆さん進級おめでとうございます。皆さんは令和5年度を迎え、新たな希望や目標に向かってがんばろうという気持ちになっていることと思います。

昨年度は、「挑戦」「想いを形に」をキーワードに、学校生活全般においてほとんどの生徒がしっかり取り組み、心の成長も見られた1年でした。中体連大会、各種コンクール、各種審査会等でも入賞するなどの活躍がみられ、今年度はさらに成長した姿が見られることを楽しみにしています。

一方、生徒指導の先生からは、不必要なものを持ってきたことや休み時間の過ごし方、タブレットの学習以外の不適切な使用なども見られたというお話もありました。少しずつ改善が見られてきましたが、まだ改善の余地があると考えています。

本校の教育目標は「自ら進んで学ぶ 自学」「思いやりの心で他と接する 共生」「自分の未来は自分で切り開こうとする 自立」です。今年度の目指す学校像を「支え合い・励まし合い・高め合う学校」「あいさつ日本一の輝く学校」「夢・目標・誇りを持ち一人一人が輝く学校」としました。一人一人がその目標を達成し、郡山五中をより良くしていこうとする意識を持つことが極めて重要です。ダメなことはダメ、良いことは率先して行動する、それは、先生から注意をされて気づくのではなく、自分自身で考えて正しい判断をするということです。みなさんが社会に出てから通用する力を育成したいと考えているからです。この姿勢こそが郡山五中をさらに深化させる唯一の方法です。

特に3年生には学校の顔として中心的な働きをお願いします。卒業式の準備、入学式の準備等、確実に一人一人の意識が変わってきています。最高学年としての意識、中学校生活最後の1年という意識をかみしめて、学年の先生方から学び、そして、進路実現にむきに突き進んでください。

2年生には、新入生へのアドバイスをお願いします。昨年の入学時を思い出してください。期待と不安の中での学校生活ではなかったでしょうか。新入生が早く五中の生活に慣れ、存分に力を発揮してもらうためには、2年生の力が必要です。よろしくお願いします。

入学式でもお話をしますが、世界一になったWBC日本代表監督の栗山英樹氏は「自分を信じ、あきらめずに挑戦し続けることの大切さ」と「その挑戦をやめた時、あるいはダメだと思った瞬間に終わる」と話しています。

今年度は、昨年に引き続き「挑戦」と新たに「感謝」をキーワードにしたいと思います。いろんなことに「挑戦」してほしいと思います。挑戦して失敗から学ぶこともたくさんあります。そして、常に何事にも感謝の気持ちをもち続けてください。そういった謙虚さが自分自身を高めることにつながります。

最後に、全員が健康でそして安全に、充実した令和5年度となることを期待し、1学期始業のことばといたします。

令和5年4月6日

郡山市立郡山第五中学校長 小山 健幸